

けんしゅうしましよ

9号
R1. 11. 25
文責 横山

道徳 主題名 優しい気持ち
中心内容項目 B-(6) 親切, 思いやり
(主として人との関わりに関する事)
資料名 はなばあちゃんがわらった
1の2 授業者 磯谷 麻江

10月4日(金)5校時, 1の2において校内研究授業が行われました。自我関与させる工夫や共通解のまとめ方など, 今年度本校で目指す授業について考える機会となりました。



今後の道徳の授業作りに向けて

「親切にする時」「親切にしてもらった時」両者の気持ちを考えることで, 行動の裏側にあるやさしい気持ちに気がつくことができた授業でした。

登場人物が元気のないおばあちゃんに対して, 花を作ったりする行動を支える心を問う場面展開でした。児童は, 自分が親切にしたり, してもらったりした経験から, 登場人物に思いをのせて考えることができていました。

活発な指導案検討がなされ, 発問の順番や発問の言葉選び, 課題や共通解とのつながりなどによって, 大きく授業の流れが変わることを再確認することができました。

お忙しい中, 授業を公開してくださった磯谷先生, ありがとうございます。

①導入について

・「頼まれてしたことではないのに, どうして親切にできるのだろうか」という課題の持たせ方がスムーズで良かった。導入で課題意識をもたせてから, 資料に入る本校の研究スタイルが確立してきた。

②自我関与させる展開の工夫について

・発問の精選を図る必要がある。なるべく少ない発問で児童がじっくりと考えることができるような発問構成になることが必要である。①場面発問②テーマ発問③問い返し発問④振り返り発問の4つの発問を意識することで, 授業の流れがすっきりとした発問構成になるのではないだろうか。

③生活とつなげるふりかえりについて

・本時のわかったことという視点での振り返りであった。児童が自分の言葉で振り返りを書く姿が見られた。1年生の書く力が身に付いていることに感心した。「親切って, みんなをうれしい気持ちにさせる」「人に親切にする時には心をこめるとよい。」と言った発言からは, 一人一人が納得解としての振り返りをしている姿だったのではないだろうか。